

まちづくり部会における検討状況について

〈上野地区の現状認識〉

- ・回遊性が課題 : 「杜とまちが分断されている」
- ・超高密度な資源の集積 : 「歴史・文化の蓄積がある」
- ・昔からある建物が多 : 「今後、建て替えが進む可能性が高い」
- ・上野駅のターミナル性の低下 : 「まち全体として集客力低下の懸念」
- ・前向きなまちの変化の希薄さ : 「他地域に比べて計画的な都市更新がなされていない」

「上野らしさ」・「俺たちのまち感」の具体的な将来像を設定
～このまちは、何を守って、何を育て、何を作り出して行くのか!?～

検討テーマ

1. クオリティ

① 杜とまちの歴史を未来へ広げる

- ・幕末から第二次世界大戦後の復興までの激動の100年の時期に、上野は日本の歴史の中心
- ・その積み重ねた杜とまちの一体的な歴史を未来へ広げ、さらに生み・積み重ねる

② 誰もが懐の深さを感じられる

- ・多様なことを受け入れ包摂(インクルージョン)する懐の深さを活かす

2. キャパシティ

① 世界中の人々を惹きつけ、迎え入れる

- ・外国人を含む多様な来街者を迎え入れ、もてなす準備を整える
- ・エリア防災力の向上による、まちの魅力向上

例えば…

- 帰宅困難者対策
- 市街地における防災空間の確保 …

3. ポストモータリゼーション

① 歩行者優先の道路空間を活用する

- ・将来訪れる車社会の転換期を捉え、人中心の道路空間の活用を検討
- ・歩行者ネットワーク強化による、まちの回遊性向上
- ・道路空間におけるイベント等社会実験の実施

エリアマネジメント

～ エリア全体を支えるまちづくり組織の構築～

エリアマネジメント組織で取り組む事例

- ・来街者をもてなす準備
- ・まちづくりルールの策定
- ・道路空間等におけるまちの運営 等

取組みの方向性 ⇒ (第4回部会以降の検討テーマ)

- 杜・駅・まちを活用した、多様な来街者を惹きつけ迎え入れる場をつくる (まちの資源の発信・案内機能や交流・インキュベーション機能、宿泊・滞在・サービス機能の強化)
- さらなる来街者を迎え入れるためのエリア防災力の向上
- 積み重ねた歴史が息づくまちの景観や賑わいの魅力の維持向上
- 上野で住み、働くための都市機能の強化
- まち全体を支えるマネジメント体制の構築